

3 実施計画事業(政策的事業(政策的事業のない課はいは一般管理事務等))の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)

〈5公民館としての取り組みと成果〉

「春の市民まつり」や「しろやまフェスタ」開催時に「公民館ブース」を設置するとともに、11月にイオン茅ヶ崎中央店にて、公民館活動を周知する展示や、主催事業をワークショップ形式で実施する「公民館フェスタ」を開催した(参加者数延べ400人以上)。また、「市民便利帳ちがさき生活ガイド」に加え「茅ヶ崎市高齢者ガイド」にも公民館ページを新たに設けることで、多世代へ公民館のPRに努めた。さらに、ホノルルウィーク展、環境展、食育展等の館内展示や、高齢福祉介護課(フレイルチェック、わたしの覚え書き書き方講座等)や健康増進課(乳幼児健康相談)の実施など、他課との連携事業も行い、一定の成果をあげたと考える。さらに、インターンシップ生を受け入れ、公民館事業に携わってもらいながら、若者の視点から、若い世代の方々に公民館を利用してもらうために必要なことについて考えるきっかけづくりとした。このように5館が連携し、様々な機会を捉えて、日頃の公民館活動をPRを行っているが、依然として公民館を知らない、利用したことがない市民も多くいることも事実である、こうした実情を踏まえ、引き続き他課と連携した事業を継続的に実施するとともに、あわせて公民館のPR活動を職員一丸となって積極的に実施することで、公民館の充実を図っていきたい。

〈小和田公民館の取り組みと成果〉

政策的事業については、平成30年度の目標が未設定である「耐震補強及び施設改修事業」を除く全ての事業で目標値の80%以上を達成し成果があがったことから、それぞれ「S」評価とした。来館者数も延べ58,000人以上となっており、年間70以上の幅広い主催事業の実施や、近隣の自治会、小・中学校や地域集会施設等へのチラシ配布をはじめとした各種周知活動によることが主な理由であると推測され、当館が地域の拠点として一定の役割を果たしているものと考え。また、30年度に実施した自主事業のアンケートの集計では、「大変満足」「まあまあ満足」を合わせると95%になることから、多くの参加者が事業に「満足している」結果となっており、初めての参加者の割合も30%程度であることから、様々な事業や周知を行うことで新たな参加者の掘り起こしもできていると考える。しかしながら、男性の参加割合は前年度と比較すると微増しているものの、20%程度であり、引き続き男性の参加しやすい事業や環境づくりが必要であると考え。なお、職員の時間外勤務については、一人あたりで換算すると月平均9.8時間で前年度と比較し減少しており、引き続き事務の効率化及び館内の協力体制により、時間外勤務の縮減に努め、職員のワークライフバランスを図る。

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

No.	事務事業(事業がない場合は－)	事務改善の内容
2	公民館利用者活動支援事業	5館で契約する事務の契約手法等を精査し、経費削減等について引き続き検討する。
7	学習成果の還元事業	公民館まつりの業務内容について見直しを図り、経費の削減を図る。

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

No.	事務事業(検討事業がない場合は－)	休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載)
-	-	個々の担当業務の進捗状況等を確認する中で、全事業の見直しを検討した。その結果、第4次実施計画作成の際に適切に事業の統合等を図ったことから、現時点での事業の休・廃止は困難である。しかしながら、引き続き5館連携して改善を行うことで効率的な事業運営を図っていきたい。
-	-	-

6 働かかたの見直しにおける取り組み結果(28-30年度の3か年の取り組みの結果、得られた生産性向上などの成果)

取り組みの結果

- ・公民館で共通する業務の契約並びに期間等の見直しを行い、経費削減と契約等に係る職員の事務の効率化を図った。(清掃業務委託及び警備委託の長期継続契約化、複写機賃貸借契約の統合)
- ・限られた職員体制の中での交代勤務のため、依然として年次休暇取得状況は低い。そのため事務分担等の見直しを実施し、業務効率の向上を図る中で、引き続き年次休暇取得率の向上に努めたい。